

生徒に家庭学習習慣を形成させている学校の共通点

10月から12月にかけて、県教委指導主事が県内中学校を訪問し、望ましい家庭学習習慣の形成について協議しました。その中で、学習習慣形成に成果を上げている学校の共通点を紹介します。3学期からの自校の取組をより効果的なものにするために、事例を参考に、組織的な取組を推進しましょう。



自校の課題を基に改善への道筋をつける

成果を上げている中学校の共通点は、次の3点です。

- 自校生徒の家庭学習状況を踏まえた**校内研修を実施**している。
- 全教職員が自校生徒の学習習慣に関する**課題を共有**している。
- 改善に向け、家庭学習の課し方や点検・評価についての解決方法を**具体的に**決め、**学校全体**で取り組んでいる。

改めて、組織的に課題を共有し、解決に向けて全教職員が協力して取り組むことが大切だということが分かります。さらに、その具体策には、次のような取組が共通して見られます。



成果を上げている学校に共通した取組

取組1

「授業」→「宿題」→「小テスト」→「補充学習」という短い**サイクル**で、生徒のつまずきを確実に解消し、基礎学力を身に付けさせています。

C

取組2

提出した宿題に対し、適切かつ速やかな**フィードバック**（コメント・評価・指導）を行うことで、生徒の家庭学習への意欲を喚起し、継続力に繋げています。

F



自校での取組に生かしましょう!!



より詳細な説明や事例については、以下の研修会で紹介します。

優良実践発表会 H30. 12. 27[木] ピュアリティまきび
第4部 学力向上フォーラム 時間 14:50~16:20
場所 2F 千鳥の間【中学校】